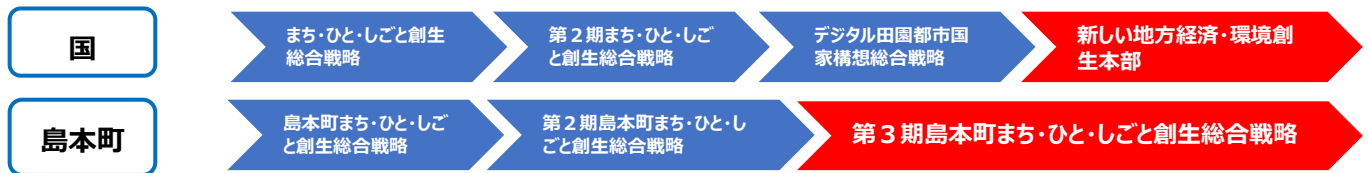
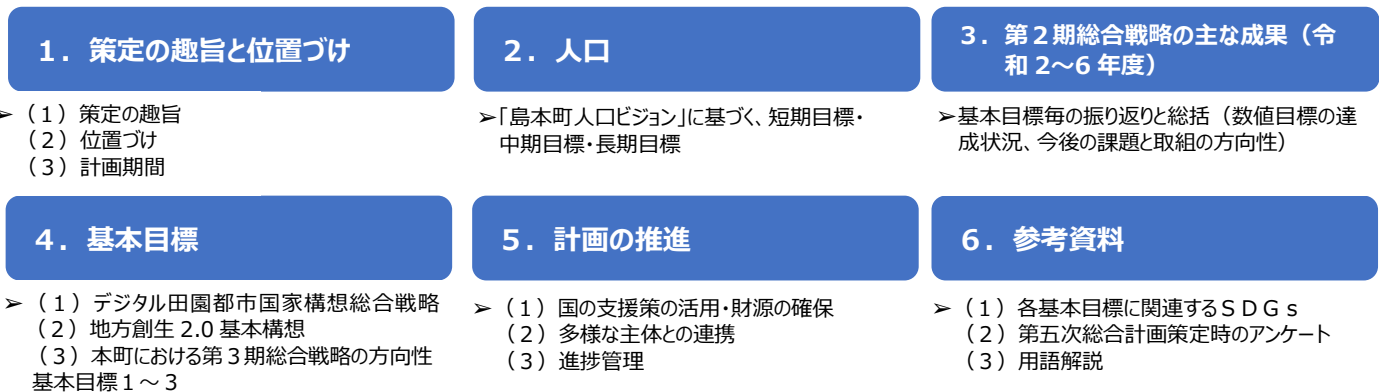


## ○ 策定の背景



## ○ 第3期総合戦略の構成



## ○ 地方創生 2.0 基本構想（令和7年6月13日閣議決定）

※素案 10～11 ページ

## 目指す姿

「強い」経済と「豊かな」生活環境の基盤に支えられる多様性の好循環が「新しい日本・楽しい日本」を創る

## デジタル田園都市国家構想総合戦略を発展的に継承

## 【基本構想の5本柱】

## 人口減少が進む中でも経済成長、地域社会を維持

- 1 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生  
「若者・女性」への着目、人口減少が進む中でも社会を維持
- 2 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創出  
人口減少局面でも稼げる地方を作る（新結合による高付加価値化）
- 3 人や企業の地方分散  
関係人口を活かした都市と地方の支え合い
- 4 新時代のインフラ整備と AI・デジタル等の新技術の徹底活用  
生成 AI 活用や、半導体産業・データセンターの地方分散
- 5 広域リージョン連携  
自治体の区域を超え経済の観点でも官民連携のプロジェクト

## 【10年後に目指す姿】

## 若者や女性にも選ばれる地方をつくる

- ・若者が地方に残りたい、東京圏から地方に戻りたい、地方に行きたいと思うことができる。また、地方に魅力的な学び場、働き場があり、若者が地方で学びたい、働きたいと思うことができる
- ・性別にかかわらず、自分の能力や可能性を発揮し、働きたい人がいきいきと働き続けられる
- ・若者や女性が地域づくりの議論に参加している

## 地域資源を活用した高付加価値型の地方経済をつくる

- ・地域資源を活用した新たな産品、サービスが生み出せる
- ・地域で国際競争力のある産品を生み出し、世界に向けても売り込める
- ・新たな起業に挑戦できる環境が整っている

## 安心して暮らせる地方をつくる

- ・身近な生活必需品の買物に不自由しない ・ 日常の医療・介護サービスに不自由しない
- ・ 日常の移動に不自由しない ・ 災害時も避難所の生活環境が確立されている
- ・ 人々が地域での暮らしに満足感を持っている

## 都市と地方が互いに支え合い、一人一人が活躍できる社会をつくる

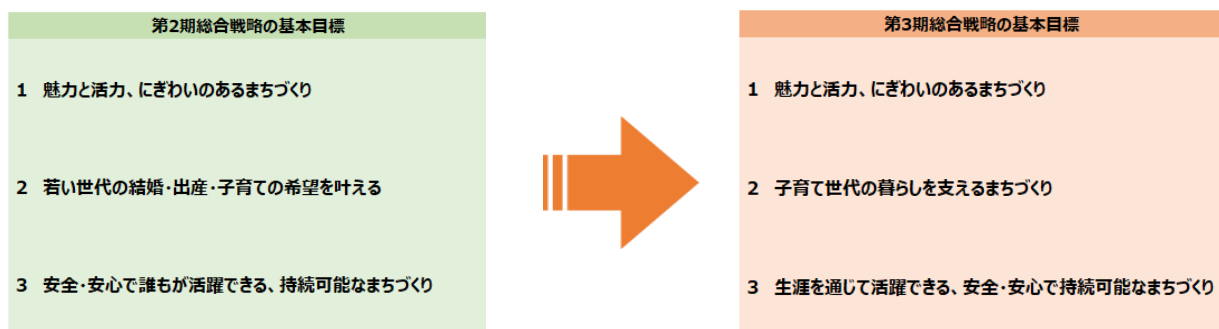
- ・都市が地方がかかわらず、互いに交流し、助け合える
- ・人材が希少となる中で、一人一人が活躍できる

## AI・デジタルなどの新技術が活用される地方をつくる

- ・全国津々浦々でデジタル基盤が整備され、AI・デジタルなどの新技術が活用できる

## ○ 本町における第3期総合戦略の方向性

※素案 11 ページ



★「島本町を選んでよかった」と感じてもらえるような地域づくり、「地域資源の付加価値向上」、「AI・デジタル技術の積極活用」の視点を重視

## ○基本目標について

※素案 12～16 ページ

### 目標

### 基本的方向

#### 基本目標1 魅力と活力、にぎわいのあるまちづくり

##### ◆数値目標

項目	基準値	目標値（令和11年度）
事業所数	574 事業所 令和6年度基礎調査	600 事業所 令和11年度基礎調査

##### ◆基本的方向

- 自然・産業・歴史・文化などの地域資源の掘り起こしや働き上げに向けて住民団体や商店・企業などと連携するとともに、「離宮の水ブランド」や「ジャパニーズウィスキー」のふるさととの取組などを通じ、まちの魅力や付加価値のさらなる向上をめざします。
- 様々な媒体を活用し、地域内外の方々にまちの魅力を発信するとともに、近隣他市町や事業者と連携した観光事業を推進します。また、ふるさと納税・企業版ふるさと納税などの取組を通じ、関係人口の創出・拡大をめざします。
- 企業立地、創業支援や商店街などの支援、農林業に係る取組などを通じ、地域産業の活性化を図り、地域経済の好循環や雇用環境の創出、にぎわいのあるまちをめざします。
- 施策の推進にあたっては、AIやデジタルなどの新技術を積極的に活用します。

### 具体的な施策とKPI

#### 施策1-1 地域資源の価値向上と魅力の発信

##### ◆主な取組

分野	取組内容
①まちの魅力の創造・発信	・「民」の力を活かした観光資源の掘り起こし・働き上げ・活用 ・町内を周遊するための環境づくり、にぎわいづくりに取り組む団体や事業者への支援 ・近隣自治体・事業者等と連携した観光事業の推進 ・多様な主体との連携による地域ブランドの育成 ・まちの魅力発信、関係人口の創出・拡大に向けた取組 ・歴史文化資料館及び歴史文化遺産の活用、郷土の歴史や文化の振興

##### ◆KPI（重要業績評価指標）

KPI	基準値（令和6年度）	目標値（令和11年度）
ふるさと納税・企業版ふるさと納税の寄附件数	ふるさと納税：6,355件 企業版ふるさと納税：13件	ふるさと納税：11,000件 企業版ふるさと納税：15件
ふるさと納税の出店数	21件	30件

- (1) 国の手引きに沿って、目標（基本目標・数値目標）・基本的方向・具体的な施策とKPI（施策・主な取組・KPI）の項目で整理
- (2) 数値目標は、各基本目標に1つ、KPIは各施策に2つ（DX除く）に厳選

## 基本目標1 魅力と活力、にぎわいのあるまちづくり

### ◆数値目標

事業所数（基準値 574 事業所 ⇒ **目標値 600 事業所**）

#### ◆施策1-1 地域資源の価値向上と魅力の発信

分野：①まちの魅力の創造・発信

##### ◆KPI（重要業績評価指標）

ふるさと納税・企業版ふるさと納税の寄附件数（基準値 ふるさと納税：6,355件、企業版ふるさと納税：13件 ⇒ **目標値 11,000件、15件**）  
ふるさと納税の出店件数（基準値 21件 ⇒ **目標値 30件**）

#### ◆施策1-2 産業振興と創業の支援

分野：①商工業 ②農林業

##### ◆KPI（重要業績評価指標）

商店街の空き店舗数（基準値 11 店舗 ⇒ **目標値 7 店舗**）  
創業支援等事業計画による創業件数（累計）（基準値 13 件 ⇒ **目標値 10 件**）

## 基本目標2 子育て世代の暮らしを支えるまちづくり

### ◆数値目標

合計特殊出生率（基準値 全国平均より0.12ポイント高⇒ **目標値 全国平均より0.2ポイント高**）

#### ◆施策2-1 妊娠・出産・子育て期の支援と教育環境の充実

分野：①子ども・子育て支援 ②保育・幼児教育・学童保育 ③学校教育

##### ◆KPI（重要業績評価指標）

待機児童数（基準値 保育所等：28人、学童保育：0人 ⇒ **目標値 ともに0人**）  
学力調査の平均正答率が全国平均を上回る教科の割合（基準値 小学校：100%、中学校：100% ⇒ **目標値 ともに100%**）

## 基本目標3 生涯を通じて活躍できる、安全・安心で持続可能なまちづくり

### ◆数値目標

今後も島本町に住み続けたいと答えた住民の割合（基準値 76.5% ⇒ **目標値 80%**）

#### ◆施策3-1 地域に愛着を持ち、生涯を通じて活躍できるまちの実現

分野：①支え合い・生涯活躍・多文化共生 ②地域コミュニティ

##### ◆KPI（重要業績評価指標）

健康寿命（基準値 男性：81.1歳、女性：85.6歳 ⇒ **目標値 基準値以上**）  
自治会加入世帯数（基準値 7,725 世帯 ⇒ **目標値 8,000 世帯**）

#### ◆施策3-2 安全・安心で、持続可能なまちの実現

分野：①防災・防犯 ②環境・都市機能 ③DX（デジタル・トランスフォーメーション）

##### ◆KPI（重要業績評価指標）

自主防災組織の加入率（基準値 50.4% ⇒ **目標値 55%**）  
刑法犯罪の発生件数（基準値 120 件 ⇒ **目標値 96 件**）  
公開型GISの年間アクセス総件数（基準値 ー 件（参考値 837 件（令和7年9月）） ⇒ **目標値 12,000 件**）  
証明書のコンビニ交付利用率（基準値 20.4% ⇒ **目標値 45%**）

## ○今後のスケジュールについて

第1回まち・ひと・しごと創  
生総合戦略審議会

令和7年11月5日

第2回まち・ひと・しごと創  
生総合戦略審議会

令和8年1月7日

パブリックコメントの実施

1月下旬～2月下旬

第3回まち・ひと・しごと創  
生総合戦略審議会

2月下旬～3月中旬

策定及び公表

3月中